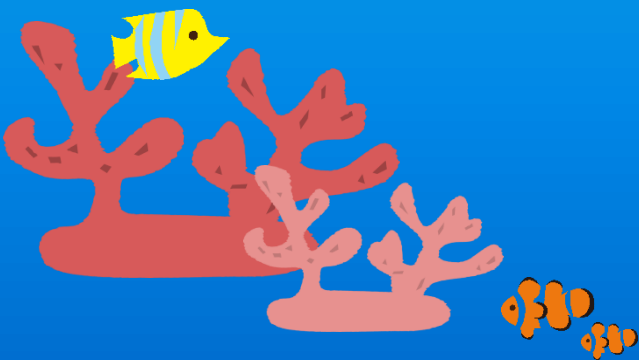
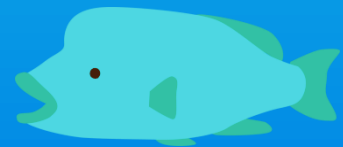
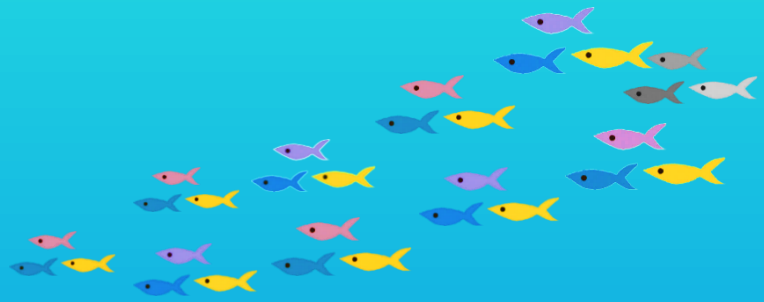


序章 はじめに



序章 はじめに

1. 計画策定の趣旨

我が国は、平成 20（2008）年より人口減少社会に突入しました。国全体で見れば、人口は東京圏への一極集中で、地方での人口減少が顕著になってきており、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」とする。）の推計によると、今後も人口減少は加速度的に進行し、平成 72（2060）年の総人口は約 8,700 万人にまで減少すると見通されています。

このような状況を受け、人口減少問題の克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的に、平成 26 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定・施行され、翌 12 月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

このように、全国的に人口減少が加速度的に進むと予測されている中、沖縄県全体では人口増加が続いており、本村においても沖縄県全体と同様に人口が増加し続けています。

しかし、一部の地域ではすでに人口が減少しており、人口減少となっている地域においては、人口減少を食い止めるための課題解消の検討及び施策の展開を行うとともに、その他の地域においては人口増加又は維持に向けた施策の展開が求められています。

本村においても、国の「長期ビジョン」や「総合戦略」を踏まえ、人口減少の抑制や持続可能な地域づくりに向け、恩納村まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定いたします。「人口ビジョン」では現状分析をもとに将来人口を推計し、平成 52（2040）年における目標人口の設定を行いました。

「総合戦略」では目標人口を達成するために、住民等の意向の把握を行いながら、今後 5 年間ににおける基本目標と具体的施策を取りまとめました。

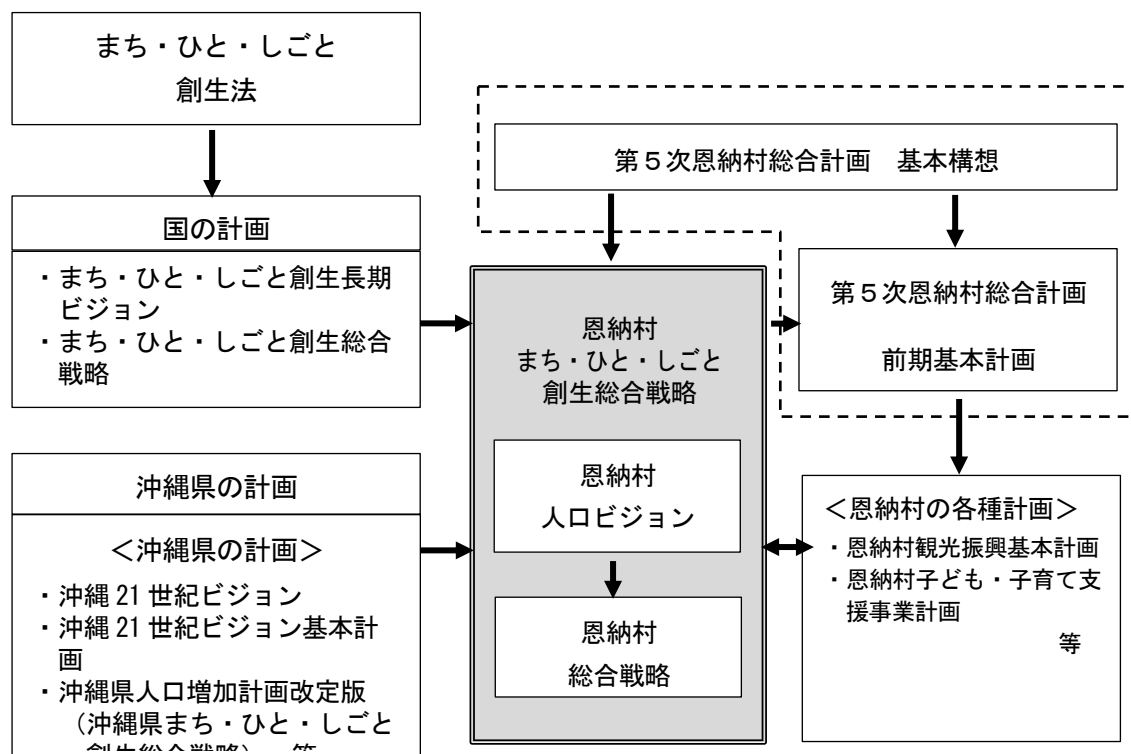
今回策定いたしました「恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、住民、地域、団体、企業、行政が協力しあいながら、持続可能な地域づくりに向け、取り組んでいくものです。

2. 計画の位置付け

恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略は、本村における人口の現状を分析し、今後、目指すべき将来の方向と人口の展望を示すとともに、目標人口の実現に向け、今後5年間における基本目標と具体的施策を取りまとめたものです。

策定にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、「沖縄県人口増加計画改訂版（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）」、「沖縄 21 世紀ビジョン」など沖縄県の計画、本村の最上位計画である「第5次恩納村総合計画」を踏まえ、定めます。

図-計画の位置付け



1) 計画期間

恩納村人口ビジョンの計画期間は、社人研の将来人口推計に合わせ、平成 52 (2040) 年を基本とします。

恩納村総合戦略の計画期間は、平成 27 (2015) 年から令和 3 (2021) 年とします。